

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	編集後記
別タイトル	EDITORIAL POSTSCRIPT
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2024.03.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 71(1).
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD91211139

編集委員会

編集委員長：船戸弘正
編集委員：狩野修
村上義孝
大塚由一郎
田中京子
編集顧問：中野裕康

松田尚久 三上哲夫
内藤篤彦 南木敏宏
佐野厚 高橋寛

津熊久幸

(ABC順)

編集後記

2022年11月にOpenAI社が公開したチャットボットであるChatGPTは瞬く間に、無料で利用できる革新的なサービスとして、また生成した文章が予想以上のこなれたものであったことから大きな話題となりました。東邦大学においては、2023年6月23日付で「東邦大学における生成系AIの利用に関する方針」が出され、使用に関しての基本的考え方が示されています。ChatGPTを始めとする生成系AIが、教育や研究の活動に対して大きなインパクトがある反面、負の側面に留意して使用・活用しなくてはならない、ということですが、半年ほど経った現在、私自身は何にどのように活用すべきかの良案が浮かばずにいます。

そうこうするうちに、欧州連合(EU)で、世界で初めての「AI規制法案」が2023年12月にEUの主要機関で大筋合意されたというニュースが入ってきました。その大きな目的は、EU内で統一の基準を作ることで、AIの開発や活用を促しつつ、人々の健康と安全、基本的人権を守る、ことにあるそうです。オランダで税務当局が個人情報をもとにAIによるリスク分析を行った結果、2万人以上が児童手当の「不正受給者」のぬれぎぬを着せられ、親子が引き離されたり、自殺者が出たりする事態が起きていたそうです。そういえば、日本においても就職情報サイトが、本人の同意無しに、就職活動中の学生が内定を辞退する確率をAIを使って予測し、そのデータを企業に販売していた、というニュースがありました。AIによって便利になることはも

ちろんあるでしょうが、AIに全てを任せることの危険性は既に社会問題化しているということです。

生成系AIに限らずAIの進化はすさまじいものがあるようです。今後教育・研究の場において表面化する問題がどのようなものになるのか予想できませんが、AIの使用による不適切なことが起こらないよう、アンテナを高くして注意していなくてはならないと思った次第です。

(三上哲夫)

東邦医学会雑誌 第71巻 第1号

令和6年3月1日発行

編集兼
発行人 船戸弘正

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
東邦大学医学部2号館M1階 医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3764-1642

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎